

プロバイオティクス・ プレバイオティクスが つくる未来

～「マイクロバイオータ」と「疾患」の研究は Next Stage へ! ? ～

2022. **11.11** Fri.
16:00～17:30

講師：**枋尾 巧** 理学博士

藤田医科大学
消化器内科学医科プレ・プロバイオティクス講座

セミナーのポイント

- ① 常在菌の果たす役割とディスバイオシスの原因は？
- ② 常在細菌叢のディスバイオシスと疾患の関係は？
- ③ 常在菌叢のディスバイオシスを改善するためには？
(プロバイオティクスとプレバイオティクスとは？)
- ④ ディスバイオシスからみたプロ・プレの合理的な介入とは？
- ⑤ 自然界全体からみたプロ・プレバイオティクスの位置付けとは？

腸内細菌叢を中心に細菌叢の乱れ(=ディスバイオシス)と様々な疾患との関係性が報告されている。今後、腸内細菌にとどまらず皮膚・口腔内・膈内などの細菌叢ディスバイオシスと疾患の関係性も報告されてくることが推測され、近い将来、生体内の全ての細菌叢ディスバイオシスと疾患の関係性が解明されてくるであろう。しかしながら、昨今の研究において、「細菌叢ディスバイオシスと疾患が関係してるのであればディスバイオシスの改善は疾患の改善につながるのでは??」という本質的な「問い」に対する明確な答えはほとんどない。

常在細菌叢のディスバイオシスを改善する代表的な素材は、プレバイオティクスとプロバイオティクス(以下、プレ・プロバイオティクス)である。藤田医科大における我々の研究とは「プレ・プロバイオティクスを用いた細菌叢ディスバイオシスの改善を通じた疾患改善」という「医学的な補完治療」を目指したものである。

本セミナーでは「常在細菌叢ディスバイオシスと疾患の関係」を紹介し「プレ・プロバイオティクスを用いた常在細菌叢の改善による疾患改善事例」をいくつか紹介する。最終的には、「自然界の中でのプレ・プロバイオティクスの存在意義とは?」という本質的な問いを解決するためのプロポーザルにつなげていく。

我々の研究結果が先生方・学生の方々の研究を推進するための一助になれば幸いである。

問い合わせ先

廣岡依里(大澤研究室)

hirooka.eri.w1@s.mail.nagoya-u.ac.jp

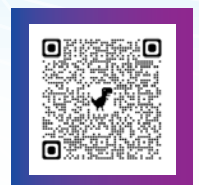
開催場所

理学部 E 館 1 階 E131 号室

言語

日本語

参加登録はこちら



参加登録 URL …参加希望の方は下記 URL または右上の QR より参加登録を行ってください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfCrwcYPu9ux_FgqCPM2SsBOMLXmD_iKdXj3qaRGZyoTR4R1w/viewform?usp=sf_link